

新エネルギーシステム設置等補助業務 〔予算額 61,250千円〕		環境部ゼロカーボンシティ推進課 事業推進係(23-6685)
財源内訳	県支出金 11,437千円、一般財源 49,813千円	
支出内訳	4款3項2目 環境推進費／住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金 46,750千円、次世代自動車購入費補助金 14,500千円	

温室効果ガス排出量の削減に資する設備等を導入する方に対し、導入に関する費用の一部を補助します。

■ 目的

本市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）における温室効果ガス削減目標（2030年度において2013年度比50%削減）の達成を目指す上での一助とするものです。



■ 補助対象設備及び補助額

(1) 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金（46,750千円）

補助対象設備	補助率又は補助単価（上限額）	R5 件数	予算額(千円)
住宅用太陽光発電システム	1万円/kW 又は対象経費の50%（4万円）	79	3,160
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム（エネファーム）	対象経費の5%（5万円）	84	4,200
家庭用エネルギー管理システム（HEMS）	対象経費の25%（1万円）	173	1,730
定置用リチウムイオン蓄電システム	1万円/kWh 又は対象経費の5%（7万円）	315	22,050
電気自動車等充電システム（V2H）	対象経費の5%（5万円）	7	350
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）	1件16万円（16万円）	85	13,600
断熱窓	対象経費の5%（5万円）	2	100
家庭用充電スタンド	対象経費の5%（2万円）	50	1,000
太陽熱利用システム	自然循環型	5	80
	強制循環型	10	480

(2) 次世代自動車購入費補助金（14,500千円）

補助対象設備	補助率又は補助単価（上限額）	R5 件数	予算額(千円)
燃料電池自動車（FCV）	個人	5	1,000
	法人	5	500
電気自動車（EV）	通常	300	9,000
プラグイン・ハイブリッド自動車（PHV）	太陽光パネル加算	80	4,000

制度変更

ゼロカーボンシティ推進業務 〔予算額 50,888千円〕		環境部ゼロカーボンシティ推進課 事業推進係(23-6401)
財源内訳	国庫支出金 8,324千円、一般財源 42,564千円	
支出内訳	4款3項2目 環境推進費／委員報酬 190千円、講師等報償金 69千円、費用弁償 63千円、特別旅費 3,098千円、消耗品費 2,919千円、通信運搬費 42千円、申請手数料 695千円、調査検討委託料 12,000千円、脱炭素化促進計画策定支援委託料 5,500千円、脱炭素先行地域支援委託料 12,991千円、環境啓発委託料 8,945千円、企画運営委託料 3,993千円、会場使用料 324千円、駐車場使用料 4千円、有料道路通行料 55千円	

■ 概要

2050年のゼロカーボンシティ実現に向けて必要な制度や体制の整備、事業者等への支援、人材育成を行います。

■ 主な取組

J-クレジット審査手数料

省エネルギー設備の導入によるCO2排出削減効果を環境価値化（J-クレジット制度）するために必要な登録申請審査費用。

スマートライティング調査検討業務

スマートライティングの導入に向けた調査を行う。

事業者脱炭素化促進支援業務

市内の事業者の温室効果ガスの排出量の削減に寄与する取組を支援する。

PPA支援業務

PPAモデルによる太陽光発電設備導入への支援業務。

脱炭素先行地域支援事業

脱炭素先行地域事業への支援事業。

カーボンニュートラル人材育成支援業務

若者を対象とした環境啓発プログラムの企画運営業務を委託する。

環境啓発業務

市民を対象としたワークショップの企画運営業務を委託する。

クールスポット創出業務

クーリングシェルターを活用した環境教育の企画運営業務を委託する。

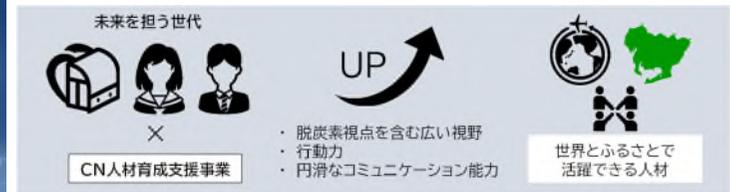
J-クレジットイメージ



スマートライティングイメージ



カーボンニュートラル人材育成支援業務



新規	再生可能エネルギー設備設置補助業務〔予算額 260,000千円〕		環境部ゼロカーボンシティ 推進課 事業企画係(23-6401)
	エネルギーマネジメントシステム構築事業補助業務〔予算額 40,000千円〕		
財源内訳	国庫支出金 300,000千円		
支出内訳	4款3項2目 環境推進費／◇再生可能エネルギー設備設置補助業務:自家消費型太陽光発電設備等設置費補助金 20,000千円、 オフサイト太陽光発電設備設置費補助金 240,000千円、 ◇エネルギーマネジメントシステム構築事業補助業務:エネルギーマネジメントシステム構築事業費補助金 40,000千円		

■ 再生可能エネルギー設備設置補助業務

脱炭素先行地域計画における公共施設や民間施設への太陽光発電設備の設置に係る補助を行う。

導入の方法は、初期費用のかからないPPA方式を想定し、公共施設の屋根や遊休地、民間施設の屋根などに設置する。

太陽光発電設備で作られた電気をその施設で利用する自家消費型と、その場で利用せず先行地域に送電するオフサイト型がある。

オフサイト型太陽光発電設備



オンサイト型太陽光発電設備



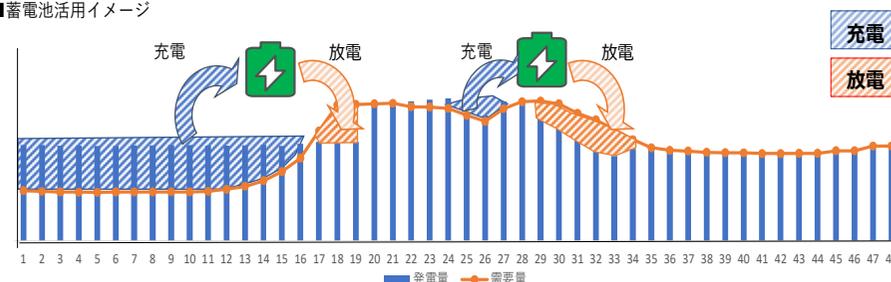
■ エネルギーマネジメントシステム構築事業補助業務

脱炭素先行地域計画における中央総合公園内に設置する太陽光発電設備と大型蓄電池を活用したエネルギーマネジメントシステムの構築に対する補助を行う。

これにより、再生可能エネルギーの需給調整等が可能となり、再エネ需給効率が高まることで地域内の脱炭素化を促進させる。



■蓄電池活用イメージ



■ 脱炭素先行地域

脱炭素先行地域とは、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。環境省は、2025年までに全国で100か所の地域を選定する予定です。本市は令和4年11月に環境省から選定されました。

タイトル：「どうする脱炭素？岡崎城下からはじまる省エネ、創エネ、蓄エネ、調エネのまちづくり」

家庭ごみ分別区分変更事業〔予算額 851,631千円〕

※リサイクル啓発業務、リサイクル業務、ごみステーション管理業務及びごみ収集業務合算

環境部ごみ対策課
ごみ施策係(23-6723)
資源循環促進係(23-6724)
収集係(23-6725)

財源内訳	使用料及び手数料 15,102千円、寄附金 1千円、諸収入 142,003千円、一般財源 694,525千円
支出内訳	4款4項2目 塵芥処理費／◇リサイクル啓発業務:普通旅費 720千円、消耗品費 1,444千円、印刷製本費 6,419千円、通信運搬費 225千円、看板製作委託料 552千円、ごみ組成分析委託料 888千円、啓発物デザイン制作委託料 374千円、啓発物配布委託料 9,414千円、◇リサイクル業務:通信運搬費 5,369千円、資源物処理委託料 146,501千円、廃蛍光管・廃乾電池処理委託料 31,525千円、廃蛍光管・廃乾電池処理負担金 329千円、◇ごみステーション管理業務:消耗品費 10,203千円、印刷製本費 2,115千円、看板製作委託料 4,372千円、資源物持ち去り監視委託料 1,648千円、資材配送委託料 939千円、施設管理委託料 117千円、◇ごみ収集業務:消耗品費 10,583千円、燃料費 26,837千円、印刷製本費 1,820千円、自動車修繕料 30,796千円、自動車損害保険料 3,053千円、粗大ごみ事務手数料 1,828千円、ごみ収集委託料 374,312千円、資源物収集委託料 174,157千円、粗大ごみ収集管理システム保守委託料 1,936千円、ごみ収集カレンダー配布委託料 137千円、自動車重量税 2,764千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 254千円

制度変更

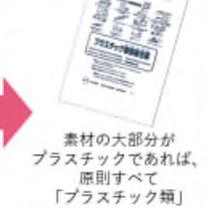
令和6年1月からごみの分別が変わります！

プラスチック類

容器包装



容器包装以外のプラスチック



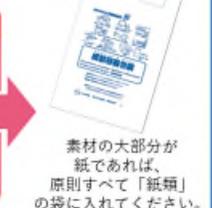
素材の大部分がプラスチックであれば、原則すべて「プラスチック類」の袋に入れてください。

紙類

容器包装



容器包装以外の紙



素材の大部分が紙であれば、原則すべて「紙類」の袋に入れてください。

空きびん

空きびん



生きびん



すべて茶色のカゴに入れてください。



<事業概要>

市民に分かりやすい優しい分別と可燃ごみの削減を図り、持続可能な循環型社会の形成を目指します。

- 容器や包装類に限定しているプラスチック及び紙の分別範囲を使用済プラスチック製品、紙製品にも拡大し素材で分別します。
- 「生きびん」・「空きびん」の分別区分を「空きびん」に統合します。

事業スケジュール

令和5年 7月～12月 町内会説明会の実施
 令和5年 11月～12月 ごみ分別冊子の全戸配布
令和6年 1月～ 家庭ごみの分別区分変更開始

経済振興部農務課
農政係(23-6195)

地消地産・消費者交流推進業務〔予算 23,036千円〕

財源内訳 寄附金 200千円、一般財源 22,836千円

支出内訳 6款1項3目 農政費／岡崎おうはん地鶏ブランド化推進委託料 4,008千円、農林業振興推進実行委員会負担金 18,998千円、
地場野菜需給安定対策協議会負担金 30千円

広く市民等に市内産農林産物を紹介し、理解を深めていただくことを通じて、農家の生産意欲の向上を図り、安全で安心な農林産物の生産を促進するとともに、地消地産の推進、農業の安定的かつ持続的な発展を図ります。

農林業祭（11月）

乙川河川敷で実施
農林業団体出展
・農林産物試食・即売・実演・体験
ゆかりのまち等出展



ゆかりのまち等の行事参加

関ヶ原合戦祭（10月）
佐久市農業祭（11月）
石垣島まつり（11月）



岡崎おうはん地鶏ブランド化推進

岡崎おうはんの魅力発信、認知度向上のためのPR
各種イベント出展
新商品開発支援
新規生産者の支援、人材育成



ふれあいイベント等交流会

おかざき農遊館、ふれあいドーム岡崎、
JR岡崎駅等で実施
・植木相談（4・10月）
・花き品評会・展示即売相談会（4月）
・石垣市物産展（7月）
・OKAZAKI産直スタンプラリー（随時）
・ぶどうフェア（8月）
・農産物産地ツアー（8・12月）
・コスモス・枝豆まつり（10月）
・じねんじょフェア（11月）
・いちごフェア（1月）
・畜産フェア（2月）
・なすフェア（3月）
・6次産品PR（随時）



PR

・「お！かざき農業お届けメール」
旬な農林産物情報、イベント情報
・紹介パンフレットの作成等



地産食農促進プロジェクト

料理レシピ・新商品開発、大学や女性農業者団体等と連携した販売戦略、消費者体験会

新規作物推進

産直施設出荷者に対する野菜種子・種苗、
花苗の斡旋（端境期、売れ筋農産物の確保）

仮称どうだん1万人鍋の開催

新規

生産者、消費者、事業者など関係者が連携・協働しながら、八丁味噌や地元の農畜産物を使用した豚汁の1万人鍋を市民や観光客にふるまうことで、地消地産の推進、農林産物のブランド力向上等、本市農業の振興を図ります。

開催日：2023年12月頃



オクオカ竹プロジェクト推進業務〔予算額 10,110千円〕

経済振興部中山間政策課
対策係(23-6702)

財源内訳	国庫支出金 10,000千円、寄附金 110千円
支出内訳	6款1項3目 農政費／講師等報償金 46千円、事業協力者報償金 422千円、消耗品費 823千円、燃料費 131千円、機械器具修繕料 220千円、オクオカ竹プロジェクト推進委託料 4,819千円、機器賃借料 3,649千円

竹を資源として活用することで、放置竹林の解消、地域の環境・景観を改善、維持し、まちづくり活動への取込み、地域経済循環の拡大、有害鳥獣生息環境管理、雇用の創出・所得向上に資する体制を構築します。

背景

- ・ 竹資源利用の減少
- ・ 竹林の管理放棄、放置竹林の増加
- ・ 竹公害(崖崩れ、道路の視界不良、倒伏、住環境(日照・防犯)、不法投棄の温床など)



地域づくり活動

- ・ 町内会・まちづくり協議会活動 等
- ・ 森林組合・事業者
- ・ ボランティア・企業CSR活動
- ・ 竹林所有者



地域資源(竹)を有効活用する体制の構築

現在、オクオカ竹資源活用協議会で取り組む事例



伐採 ⇒ 伝統工芸品



竹パウダー ⇒ 土壌の改良



竹炭 ⇒ 土壌の改良



竹炭パウダー ⇒ 家畜に給与

新規	J-クレジット活用推進業務 〔予算額 9,402千円〕	経済振興部森林課 林政企画係(82-3102)
財源内訳	一般財源 9,402千円	
支出内訳	6款3項2目 林業振興費／市有林造林委託料 8,659千円、J-クレジット審査委託料 743千円	

J-クレジット森林管理プロジェクト

適切な森林管理を行いCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度を活用します。認証されたJ-クレジットを発行して、J-クレジットを必要としている購入者（使用者）から資金の提供等を受け、さらなる森林整備を進めていきます。令和6年度のクレジットの発行を目指し、令和5年度森林管理プロジェクトの登録を行います。



森づくり推進業務〔予算額 5,460千円〕		経済振興部森林課 林政企画係(82-3102)
財源内訳	一般財源 5,460千円	
支出内訳	6款3項2目 林業振興費／委員報酬 1,856千円、費用弁償 813千円、食糧費 1千円、SDGs学習企画運営委託料 1,800千円、建築物木造化検討会開催委託料 990千円	

「岡崎らしい森林」づくりを推進し、岡崎市森林整備ビジョン実現に向けた取組を進めています。

新規



森林活性化アドバイザー

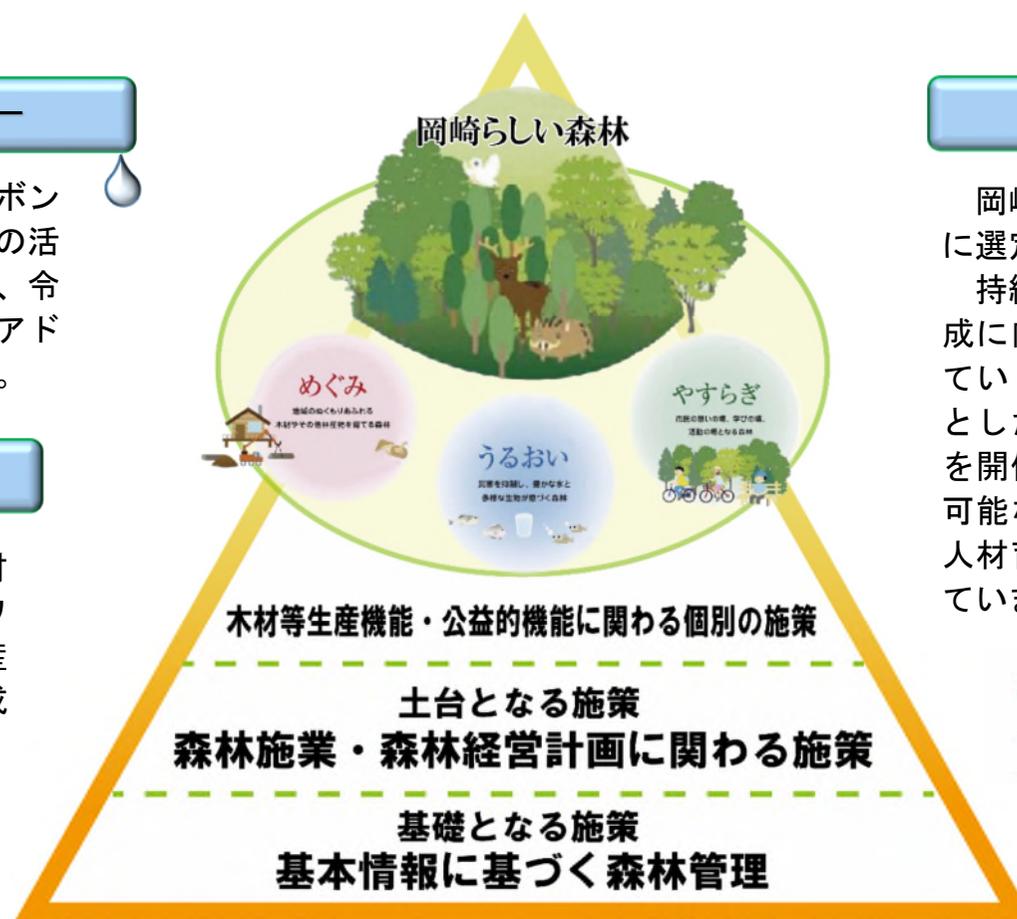
本市の森林・林業やカーボンニュートラル、中山間地域の活性化等へ助言を求めため、令和5年1月より森林活性化アドバイザーを起用しています。

建築物木造化検討会

建築物木造化学習会、木材の生産現場見学、学生向けワークショップを開催し、市産材利用を推進する機運を熟成する機会の提供をします。

SDGs学習企画

岡崎市は「SDGs未来都市」に選定されています。持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた取組を先導的に進めていくため、森林をフィールドとした講義、ワークショップ等を開催し、主体的な行動で持続可能なまちづくりに貢献できる人材育成を図ることを目的にしています。



拡充	中山間地域活性化業務〔予算額 64,852千円〕 山村振興業務〔予算額 20,531千円〕	経済振興部中山間政策課 政策係(23-6206)
財源内訳	国庫支出金 28,999千円、繰入金 3,000千円、一般財源 53,384千円	
支出内訳	2款2項12目 中山間地域振興費／◇中山間地域活性化業務:事業協力者報償金 4,800千円、中山間地域活性化施設維持管理費(委託料) 500千円、中山間地域活性化委託料 38,374千円、地区別計画及び施設活用計画策定支援委託料 3,454千円、土地賃借料 333千円、建物賃借料 885千円、施設整備工事請負費 14,955千円、オクオカ地域コミュニティ創出事業費補助金 1,100千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 451千円、 ◇山村振興業務:事業協力者報償金 7,000千円、特別旅費 21千円、消耗品費 50千円、企画運営事業委託料 1,000千円、地域活動支援委託料 300千円、建物賃借料 600千円、職員研修負担金 40千円、全国山村振興連盟愛知県支部負担金 120千円、愛知県交流居住センター負担金 500千円、地域おこし協力隊活動費補助金 5,300千円、地域活性化起業人負担金 5,600千円	

人口減少や高齢化率の上昇といった問題が一層進み、今後、地域コミュニティ機能の低下等が懸念される中山間地域を、持続可能な魅力ある地域とするため、移住・定住対策、施設の有効活用等を推進し、活性化を図ります。

新たな取組

●「おためし地域おこし協力隊」を創設します！

地域活動を体験し、受入地域とのマッチング

●「ホタル学校の多目的広場」を整備します！

大型バス受入体制の整備、渋滞対策、企業 CSR 活動の促進

●「オクオカ地域コミュニティ創出事業」を実施します！

既存施設・資源を「交流拠点」「生活支援拠点」として環境整備

地域の活性化、コミュニティの維持強化

- ・地域おこし協力隊制度活用（3名体制へ増員）
- ・地域の魅力向上と発信（自然体験、アウトドア活動等）
- ・所得・雇用機会の拡大検討（複業人材育成、地域資源調査等）
- ・農林業担い手確保（スタートガイド、体験イベント開催等）
- ・地区別計画の策定

移住相談窓口「もりまっち」の運営

- ・移住関連情報の収集、分析、発信
- ・移住促進イベントの開催
- ・移住アドバイザー（集落支援員）の配置

施設の有効活用

- ・既存施設の有効活用方法検討と試行
- ・地域資源を活用したワーケーションスペースの設置

